

看護師の環境整備に対する意識調査

key word 意識調査 看護師 環境整備

12階東 ○中西祥子 穴原恵美子 松澤優 長谷川伸子 石井静香

はじめに

現在、私立T医科大学病院泌尿器科病棟では高齢の患者が多く、転倒・転落予防は看護の重要な課題である。その原因の一つである環境要因への看護介入は退院後の生活にも影響する重要な援助である。

さらに入院することにより“集団生活”を余儀なくされる。入院生活では期間の長短に関わらず病室の中で人間の基本的な生活行動である、食事、排泄、睡眠、清潔などを行うこととなり病床周囲でのプライバシーを尊重することは入院生活のQOLに大きく影響する。

そこで、今回は入院生活に必要な様々な生活環境の中から病室にしばり、患者が最も多くの時間を過ごす場である病室の患者固有の空間に対しての、看護師の環境整備に対する「意識」と実際の「行動」について考えたい。

用語の定義

環境整備とは、人間が生命を維持し、疾病の予防や回復、健康の保持増進のために生活環境を整えることである。¹⁾

I 目的

患者に快適な療養環境を提供するために、看護師の環境整備に対する意識と行動を把握し今後の課題を明確にする。

II 方法

1. 調査対象

私立医科大学病院泌尿器科病棟看護師
25名

2. 調査期間

平成20年9月8日～9月21日

3. 調査方法

1) 質問紙調査法（配布回収調査）

質問項目は「清潔」「環境」「プライバシー」の3つのカテゴリーに分類した。

「清潔」では、病室の医療器具・物品・生活用品の整理整頓に関する質問17問

「環境」では、温度・採光・騒音に関する質問3問

「プライバシー」では、患者同士の対人関係、プライバシー尊重に関する質問3問の計23項目とした。

アンケート作成にあたり、環境整備に対する看護師の意識と行動の向上に向けた取り組み²⁾を引用した。

4. 集計方法 Excelを用いた単純集計

III 倫理的配慮

私立医科大学病院看護師25名に研究の目的を文書で説明し、研究の同意は本人の意思に委ね協力を得る。調査結果については、全て統計的なデータとして処理するため、個人の結果が単独で資料となることはない旨を説明した。

IV 結果

1. 回収率 100%

2. 環境整備に対する看護師の意識において「気になる」と答えた割合は、カテゴリー別で『清潔』が91%、『環境』66%、『プライバシー』が97%であった。(図1)

3. 『清潔』で「気になる」と100%が答えたのは1. 使用していない物品 2. 手術後のサクシオンビン 3. 使用後のガーグルベイスン 5. 尿器に尿がたまっていないか 1 7. ベッド周辺のスぺースである。次に「気になる」が80%以上であったのは7. 不要な安楽枕・抑制帯・尿器架台・寝衣・リネン類 8. ギャッチアップのレバー 9. 使用していない面会者の椅子 1 1. 使用後のT字帯・腹帯・弾性ストッキング 1 3. 床頭台の上 1 4. オーバーテーブルの上 1 5. 床に電気コードが乱れている 1 6. ナースコールの位置であった。逆に20%以上が「気にならない」と答えたのは4. 床に使用前のオムツ 6. 尿器にカバー 1 0. エアマットの機器 1 2. ベッドサイドの柵であった。(図2)

4. 『環境』で「気になる」と100%答えたのは、1. 病室の臭い 2. 夜間の騒音であった。3. 病室の明るさでは「気にならない」と48%が答えた。(図3)

5. 『プライバシー』で「気になる」と100%答えたのは2. ケア時、患者様のプライバシーであった。80%以上が「気になる」と答えたのは1. 同室患者様の対人関係に問題がないか 3. アナムネ聴取時であった。(図4)

6. 環境整備に対する看護師の行動において50%以上が「必ずしている」と答えたのは1 6. ナー

スコールの位置であった。逆に「必ずしている」が10%以下だったのは4. 床に使用前のオムツ
9. 使用していない面会者用の椅子10. エアーマットの機器15. 電気コードであった。(図5)
7. 『環境』に対する行動で40%以上「必ずしている」と答えたのは1-b. 病室の換気2-a. 自分の足音2-c. 夜間の部屋のドア2-d. 夜間病室のカーテン2-e. 夜間のナースステーション2-f. 夜間のワゴンの移動であり、「必ずしている」が10%以下だったのが1-a. カーテンやじゅうたんを交換であった。(図6)
8. 『プライバシー』に対する行動で「必ずしている」と答えたのは、1. 同室の患者様の対人関係が44%。2. ケア時が76%。3. アナムネ聴取時が40%であった。(図7)

V 考察

アンケート結果から

1. 環境整備に対する看護師の意識は『プライバシー』と『清潔』において「気になる」と答えた看護師がどちらも90%以上でありと非常に高いという結果が得られた。『環境』において「気になる」と答えた看護師は66%であり『プライバシー』と『清潔』に比べ低いことが分かった。
2. 『清潔』の項目別に見ると20%以上が「気にならない」と答えたのは4. 床に使用前のオムツ6. 尿器にカバー10. エアーマットの機器12. ベッドサイドの棚の4項目のみであった。その他の13項目はすべて80%以上の看護師が「気になる」と答えており、『清潔』の意識が高いことが分かった。
3. 『環境』に対する意識は1. 病室の臭い2. 夜間の騒音が100%「気になる」と答えており、臭いと騒音に対する意識は非常に高かった。病室の明るさに対しては「気になる」は52%であり、臭いと騒音と比較して意識が低いと考えられる。
4. 『プライバシー』に関する看護師の意識については、2. ケア時は100%「気になる」と答えた。また1. 対人関係3. アナムネ聴取時はどちらも95%以上であり意識が高いと考える。
5. 『清潔』に関する看護師の行動では、「必ずしている」と60%以上答えた項目は6. ナースコールの位置のみであった。その他の項目では「必ずしている」と答えた看護師は4%~40%であった。15. 電気コードの整理については「必ずしている」と答えた看護師は4%であり非常に低い。このことから意識では「気になる」と答えているが行動において「必ずしている」と答えた看護師は少なく行動が徹底されていないことが分かる。(図5)

6. 『環境』の行動では、40%以上「必ずしている」と答えたのは1-b. 病室の換気2-a. 自分の足音2-c. 夜間の部屋のドア2-d. 夜間の病室のカーテン2-e. 夜間のナースステーション2-f. 夜間のワゴンの移動である。環境に関する看護師の行動は意識と比較して明らかに少なかった。特に1-a. 病室の臭いは「必ずしている」が8%と低かった。
7. 『プライバシー』の行動では、1. 同室患者の対人関係が44%2. ケア時が76%3. アナムネ聴取40%であり、意識は非常に高いが行動において必ずしているが50%を超えたのは2. ケア時のみであった。

今回看護師を対象に調査し、看護師の環境整備に対する意識が高いことがわかった。しかし、意識に対して徹底して行動をしている人は少なかった。環境整備に関する個人の行動の違いが挙げられた。環境整備に関わる看護者自身の行動なくして病室や入院生活の環境の改善が図れないことは明確である。今回の調査で環境整備に対する高い意識をもとに行動を徹底する必要があることが分かった。今回は意識や行動の背景までは調査しなかった。今後この結果の背景を調査するとともに看護師の行動に対してチェックリストの作成などを検討していきたい。

VI 結論

1. 今回の調査では患者周囲の環境に高い関心を持ち、意識しているが、行動が徹底されていないことが分かった。

引用・参考文献

- 1) 杉野佳江編 基礎看護学2 第4刷, 東京, 金原出版 p652, 2001.
- 2) 尾山愛美他. 旭川赤十字病院の環境整備に対する看護師の意識と行動の向上. 旭赤医誌 20. 13-18, 2006.

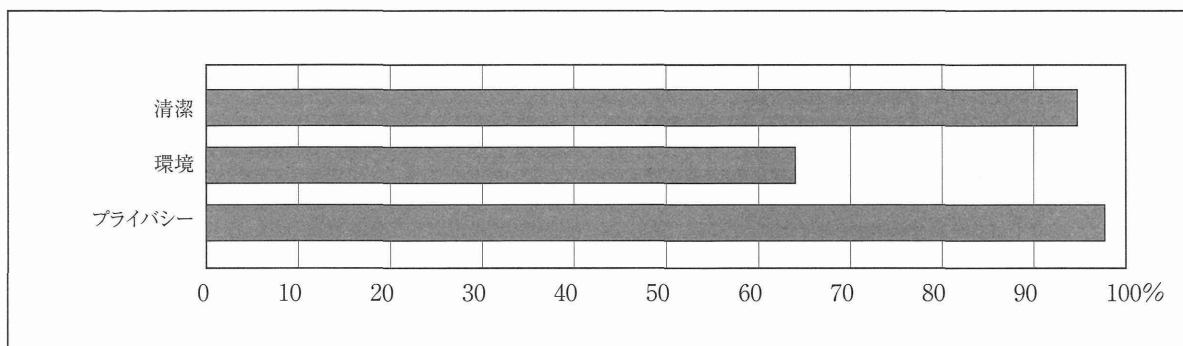


図1 カテゴリー別「気になる」と答えた看護師の割合

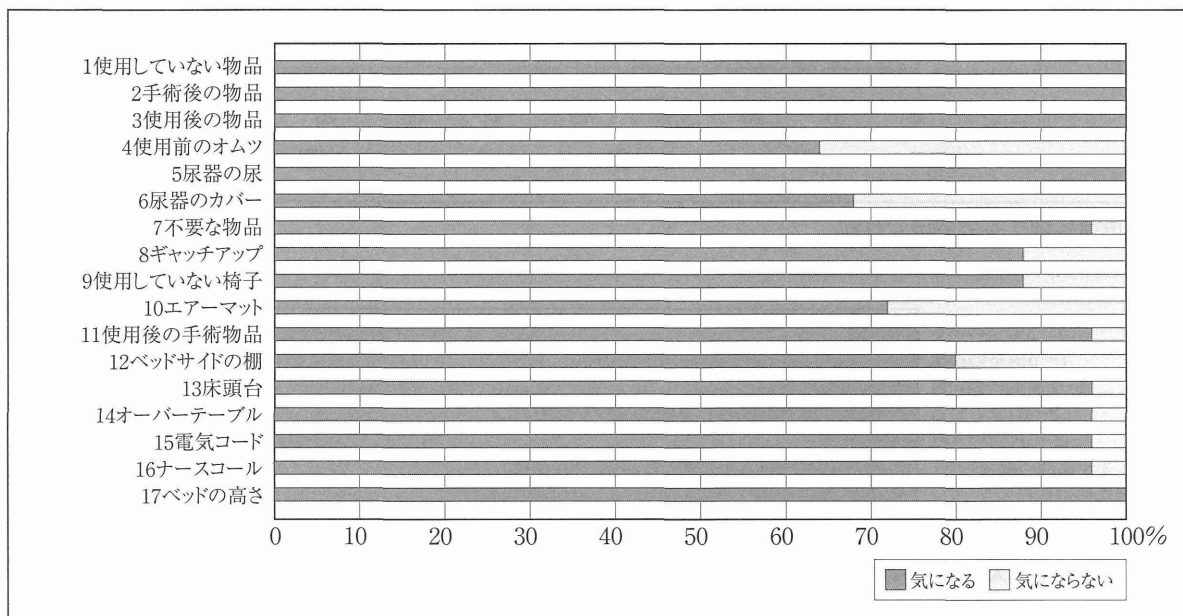


図2 清潔に関する看護師の意識

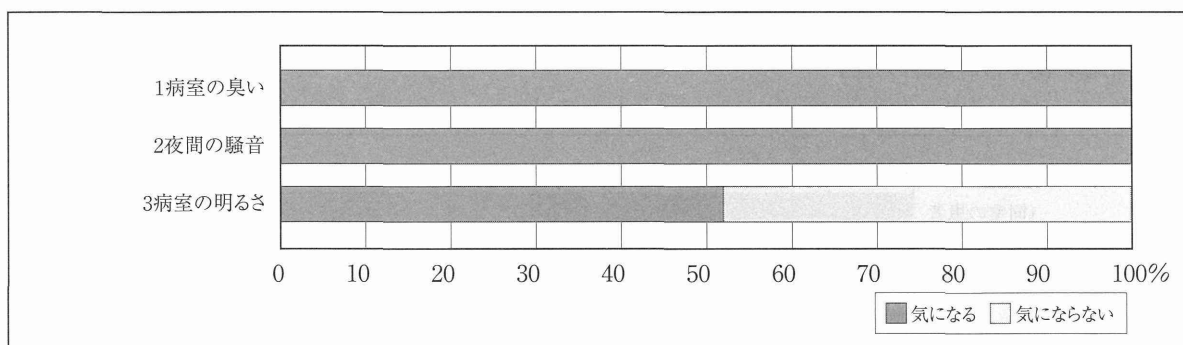


図3 環境に関する看護師の意識

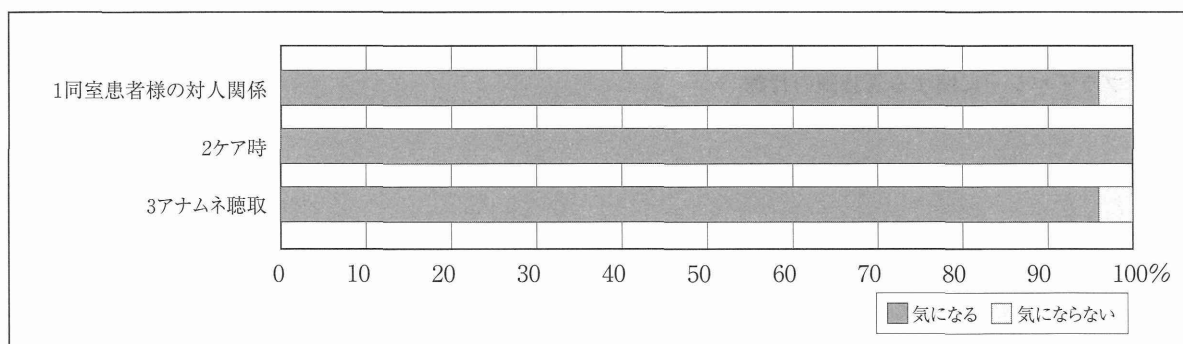


図4 プライバシーに関する看護師の意識

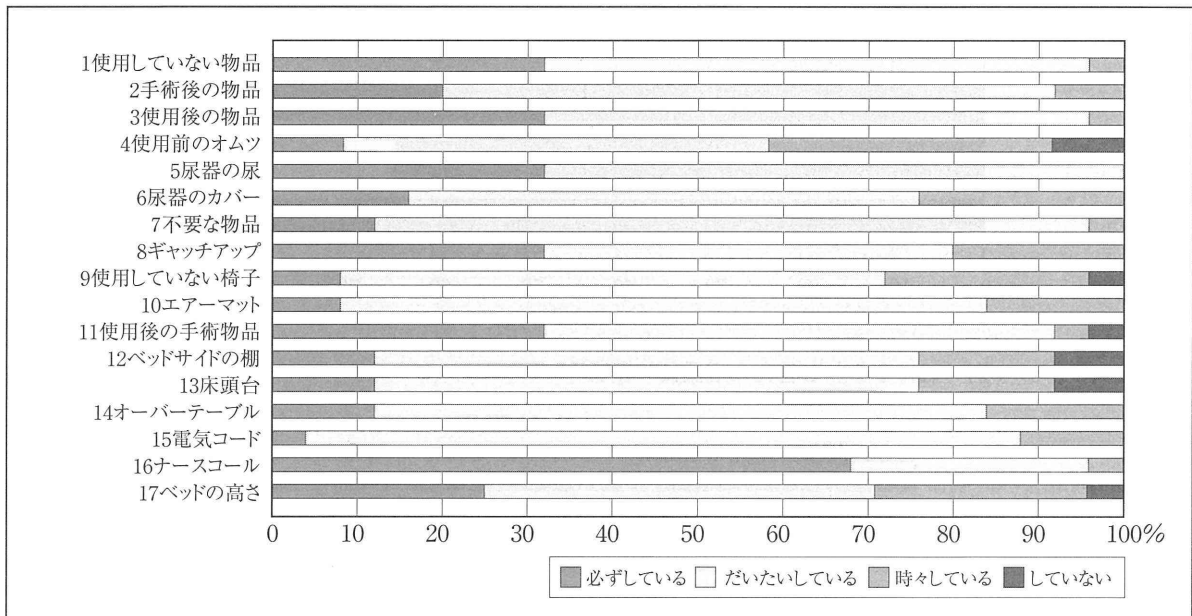


図5 清潔に関する看護師の行動

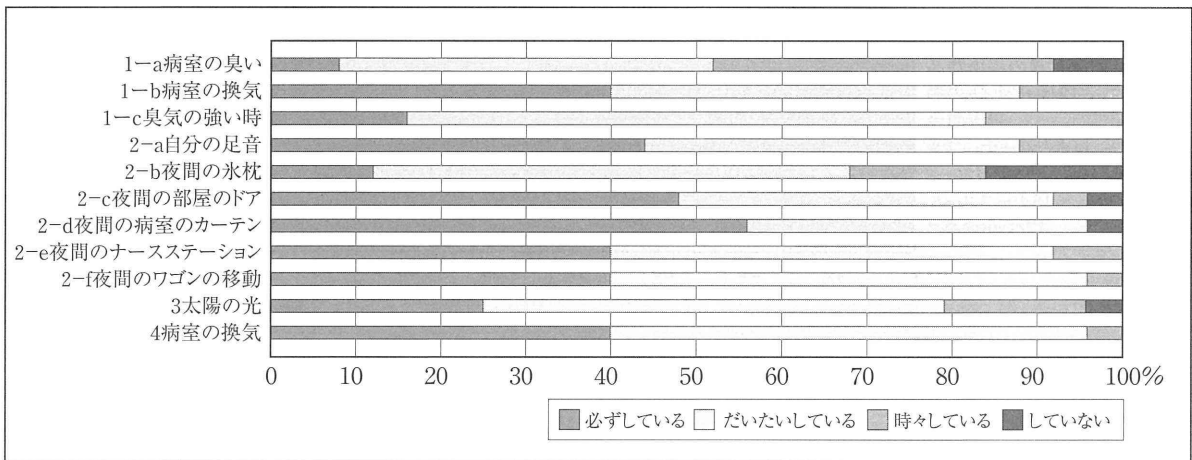


図6 清潔に関する看護師の行動

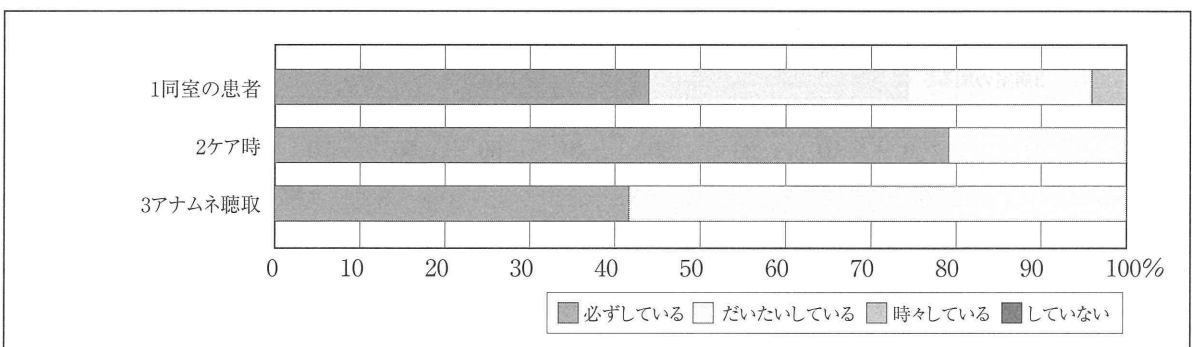


図7 プライバシーに関する看護師の行動

患者様の療養環境の整備に関する看護師の意識調査アンケート

意 識

「清潔」

I 患者様が安全・安楽で快適な入院生活が送れるよう、入院環境についてあなたが普段気になっていることをお聞きします。どちらかを○印で囲んで下さい。

(気になる 気にならない)

1. 使用していない物品(車椅子・歩行器・点滴棒)がそのままになっていると気になりますか。
2. 手術後のサクシオンピン、酸素が翌日もそのままになっていると気になりますか。
3. 使用後のガーグルベイスン、タオルがそのままになっていると気になりますか。
4. 床に使用前のオムツが袋ごと置かれていると気になりますか。
5. 尿器に尿がたまっていないか気にしていますか。
6. 尿器にカバーがかかっていないと気になりますか。
7. 不要な安楽枕、抑制帯、尿器架台、寝衣、リネン類が置いたままになっていると気になりますか。
8. ギャッチアップのレバーが出たままになっていると気になりますか。
9. 使用していない面会者用の椅子がベットサイドに置いたままになっていると気になりますか。
10. エアーマットの器機の配置が気になりますか。
11. 使用後のT字帯、腹帯、弾性ストッキングがオーバーテーブルの上に置かれていると気になりますか。
12. ベットサイドの棚が整っていないと気になりますか。
13. 床頭台の上が整っていないと気になりますか。
14. オーバーテーブルの上が整っていないと気になりますか。
15. 床に電気コードが乱れているのが気になりますか。
16. ナースコールの位置が患者様から届かない位置にあると気になりますか。
17. ベッドの高さ・ベッド周囲のスペース等が患者様のADLに適しているか気にしていますか。

「環境」

1. 病室の臭いが気になりますか。
2. 夜間の騒音は気になりますか。また気になる騒音について○印をつけて下さい。
(足音・ワゴン・ドアの開閉・水の音・カーテンの開閉・看護師の会話・氷枕を作る音)
3. 病室の明るさが気になりますか。

「プライバシー」

1. 同室患者様の対人関係に問題(患者様間のトラブル・不穏・大声による弊害など)がないか気にしていますか。
2. ケア時、患者様のプライバシーを気にしていますか。
3. アナムネ聴取時、場所・声の大きさ等気にしていますか。

行 動

II 以下の質問について当てはまるものを○印で囲んで下さい。(必ずしている、だいたいしている、時々している、していない)

「清潔」

1. 使用していない物品(車椅子・歩行器・点滴棒)は片付けている。
2. 手術後のサクシオンピン、酸素は翌日に片付けている。
3. 使用後のガーグルベイスン、タオルは片付けている。
4. 床に使用前のオムツを袋ごと置いたままにせず棚などに片付けている。
5. ベッドサイドの尿器の尿をすみやかに処理している。
6. 尿器にカバーをかけている。
7. 不要な安楽枕、抑制帯、尿器架台、寝衣シーツは片付けている。
8. ギャッチアップのレバーは閉まっている。
9. 使用していない面会者用の椅子がベットサイドにあった場合、片付けている。
10. エアーマットの器機は邪魔にならないところに配置している。
11. 使用後の、T字帯、腹帯、弾性ストッキングなどはテーブルの上に置かず、棚に片付けている。
12. ベッドサイドの棚が繁雑している場合は片付けている。
13. 床頭台の上が繁雑している場合は片付けている。
14. オーバーテーブルの上が繁雑している場合は片付けている。
15. 電気コードは邪魔にならないよう整理している。
16. ナースコールは患者様の手の届くところに置いている。
17. 患者様のADLに合わせ、ベッドの高さの調整を行っている。

「環境」

1. 病室の臭気に対して、
 - a. 臭いが気になる場合、カーテン・じゅうたんを交換してもらっている。
 - b. 排泄ケアやシーツ交換時、病室の換気をしている。
 - c. 臭気が強の場合、防臭剤や防臭シーツを使用している。
2. 夜間の騒音に対して、
 - a. 自分の足音に注意している。
 - b. 夜間、氷枕を作る際、大きな音を立てないよう配慮している。
 - c. 夜間、部屋のドアの開閉を静かに行なっている。
 - d. 夜間、病室のカーテンの開閉を静かに行なっている。
 - e. 夜間、ナースステーションで会話する際、声の大きさに配慮している。
 - f. 夜間、ワゴンの移動等、大きな音を立てないように配慮している。
3. 日中は病室に太陽の光を取り入れている。
4. 必要時、(排泄ケア・シーツ交換等)病室の換気をしている。

「プライバシー」

1. 同室の患者様の対人関係に問題がある場合(患者様間のトラブル・不穏・大声による弊害など)部屋調整をスタッフ間で相談している
2. ケア時、プライバシーが保たれるようカーテンを閉めている。
3. アナムネ聴取時は場所・声の大きさを考慮している。